

## シニア・リーダー体操教室桜木 自主活動報告書

シニア・リーダー体操教室 桜木

訪問概要	日 時	平成 28年 6月 15 日 (水曜日) 集合 11時45分 市役所(3階)エレベーター前			訪 問 者
	場 所	千葉市役所 本庁舎(3階) 市長室 及び 控え室			高橋 弥夫
	面 会 者	熊谷 俊 人 市長	面談 12時～12時50分、写真～13時		的場 裕子
	立 会 者	市民自治推進部 広報広聴課	南 琢己	☎ 043-245-5298	高橋 幸一
		保険福祉局 地域包括ケア推進課	久保田健太郎 主査	☎ 043-245-5267	伊藤真知子
	1. 会議進行	進行係は熊谷市長の隣に着席した高橋弥夫代表が全般を担当する			加藤 充子
2. 自己紹介	執務室から熊谷市長が着席して、会食前に反時計回りにメンバーが自己紹介			萩原美津枝	
3. 会食弁当	秘書課で準備した箱型弁当、(エビチリ・マカロニ・ひじき・ごまかけご飯・500円)			小田嶋キヨ子	
4. 立会記録	入口に南さんと久保田さんの2名が着席し、市長との談話内容を記録			以上7名	
5 記念写真	写真撮影は談話中も自由、南さんは食事中(着席)と終了後(横並び)の二場面を撮影			自己紹介順	
主たる市長の発言	1.冒頭の挨拶	今日はシニアリーダーの皆さんと初めてお会い出来て、お話しをするのが大変楽しみです			
	2.市の主体事業	このシニアリーダーは千葉市が推進した事業の一環であり、千葉市が主催事業として行うものである 担当部署は実施状況をモニタリングを行うなどして、活動を積極的に支援しなければならない			
	3.公民館の利用	担当部門は市が主体の事業から、先ずは公民館を基本にして活動をしてもらうことになる 公民館が月2回との制約は、公民館側に体操教室を認識してもらう為にも改善が必要である			
	4.練習日チラシ	公民館は情報発信基地から案内チラシは入口付近が望ましく、チラシの積み上げを改善要求 桜木教室では最近練習日のチラシを拒否している 見本を市長に提出し書架の新設を要請した			
	5.指定管理者	公民館の利用については市民のアンケート等から、望ましい公民館の有り方を検討している コミュニティーセンターは指定管理者に代わり、相応の負担で利用しても利用者から喜ばれている			
	6.他開設場所	学校の空き教室は生徒のセキュリティーの点から、平日は無理だが土日はハードルが低い 幼稚園の他に直営の福祉施設を開放している事例もあり、活動場所は広げることが容易である			
	7.市政だよりPR	市政だよりには公民館の講座案内があるが、限られた紙面から各種体操の掲載も限られている この体操教室は特に新規開設が増えており、PRの協力要請を承ったことを担当部署に伝える			
関連する発言等	1.市民の参画	介護保険料負担軽減と医療費の削減は緊急の課題、元気な高齢者を増やすことが市の望むところ 市の職員7000人以外に民間の力を借りて、市民が社会を支えて行く姿は今後も強まって行く			
	2.介護ボラ拡充	今まではヘルパーが家事支援を行い介護費用が増加したが、社協・NPO団体等が新たに参入し 対応している。各地域の自治会にも家事支援を依頼している			
	3.活動費用負担	ボランティア活動とは云え、運営に係わる多少の費用負担については今後検討して行きたい 福祉施設の冷暖房費の事例は合理的か否か、また実施分の支援方法をどうするか問題が残される			